

Prayers for Kamuy
The Indigenous Ainu of Shiranuka
2020年2月7日放送
JIB番組視聴モニター要約

【総評】

北海道の東部に位置する白糠町で暮らすアイヌ民族を描いた今回の番組。アイヌ民族を初めて知るモニターが多く、番組を通して興味が湧き、もっとアイヌについて知りたくなったというコメントが多く寄せられた。白糠町の紹介から始まり、アイヌ民族、歴史や現代の暮らしが良く見えてきて番組冒頭から一気に惹きこまれたという。三大祭や古式舞踊、音楽、言語、食べ物、アイヌ刺繍など、ユニークで豊かなアイヌ文化の様々な側面を見ることができる、魅力の詰まった充実した30分だったとの声が多く寄せられた。アイヌ民族の文化と世代を超え直面してきた歴史、未来を見据えた活動が良く描かれていたと、多くが記していた。

白糠アイヌ文化保存会会長・磯部恵津子さんによる、アイヌの歴史やアイヌ語の解説、自身の由来や生活に関する、インタビューを中心に展開したことで、メッセージが真っすぐ伝わってきて分かりやすく良かった、という声が多かった。

伝統文化の体験、交流、情報発信を積極的に行っている様子が印象的だったという声が多く、外国人観光客を歓迎し、彼らが伝統文化を体験している様子を見て、ぜひ次回日本を訪れた際には白糠を訪問してみたい！と複数がコメントしていた。自然と共に生きるアイヌ民族の文化、生き方は、現代世界の人々に重要なメッセージを送ってくれると感じたモニターも数多くいた。

番組ナビゲーター・高田氏のレポートは温かく、積極的だが敬意を払いながらレポートする様子が魅力的だった、番組に適していたと好評だった。

【ポイント評価】

No.	居住国	職業	性別	年代	テーマ	情報の有用性	わかりやすさ	出演者	印象に残る内容	総合評価
1	インド	弁護士	男性	20代	3	3	4	3	3	3
2	インドネシア	公務員	女性	30代	5	4	4	4	5	4
3	シンガポール	会社員	男性	50代	5	4	4	4	4	4
4	フィリピン	弁護士	男性	40代	4	4	5	5	4	4
5	フィリピン	企業家	女性	30代	5	4	4	5	5	4
6	フィリピン	編集者/ライター	女性	30代	5	5	5	5	5	5
7	ベトナム	歯科医	男性	50代	4	2	3	3	2	3
8	ケニア	会社員	男性	30代	5	5	5	5	5	5
9	ナイジェリア	グラフィックデザイナー	女性	30代	4	4	4	4	4	4
10	オーストラリア	コーディネーター	男性	30代	5	5	5	5	5	5
11	オーストラリア	食品技術者	男性	60代	5	5	5	4	5	5
12	ニュージーランド	地域職員	女性	30代	5	5	5	5	5	5
13	アイルランド	主夫	男性	50代	4	4	5	5	4	4
14	イギリス	学生	男性	20代	5	4	5	5	5	5
15	イギリス	ソフトウェアエンジニア	男性	40代	4	5	5	4	4	4
16	イギリス	無職	男性	60代	5	5	5	5	5	5
17	イギリス	ライター	女性	30代	5	5	5	5	5	5
18	イギリス	会計士	女性	40代	4	5	4	5	4	4
19	イギリス	秘書	女性	40代	3	4	5	4	3	4
20	イギリス	デザイナー	女性	50代	5	4	4	5	4	4
21	イタリア	主婦	女性	40代	5	5	5	5	5	5
22	ウクライナ	大学教授	女性	40代	5	4	4	4	5	5
23	オーストリア	主婦	女性	30代	5	4	5	5	5	5
24	オランダ	エンジニア	男性	30代	5	5	5	5	4	4
25	オランダ	編集者	女性	50代	5	4	5	5	5	5
26	カザフスタン	教師	女性	20代	5	5	5	3	5	5
27	スペイン	編集者	男性	30代	4	4	5	5	4	4
28	ドイツ	作家	女性	20代	4	4	5	5	5	5
29	フランス	編集者	女性	40代	4	3	4	3	4	4
30	ロシア	主夫	男性	40代	3	2	3	3	2	4
31	UAE	会社員	男性	30代	4	3	4	4	3	4
32	トルコ	無職	男性	40代	5	5	5	5	5	5
33	ドミニカ共和国	スペイン語講師	男性	30代	5	5	5	5	5	5
34	アメリカ	医療関係	男性	30代	5	3	4	5	4	4
35	アメリカ	保険関係	男性	40代	5	5	5	5	5	5
36	アメリカ	企業家	男性	40代	5	4	5	5	5	4
37	アメリカ	作家	男性	50代	5	5	5	5	5	5
38	アメリカ	無職	男性	70代	5	4	4	3	4	4
39	アメリカ	飲食業	女性	20代	5	5	5	5	5	5
40	アメリカ	大学講師	女性	30代	5	5	5	5	5	5
41	アメリカ	販売	女性	40代	4	4	5	4	4	4
42	アメリカ	会社員	女性	40代	5	5	5	5	5	5
43	アメリカ	グラフィックアーティスト	女性	60代	4	4	5	5	5	4
44	カナダ	エンジニア	男性	30代	5	4	4	4	4	4
45	カナダ	会社員	男性	30代	5	4	5	5	4	5
46	カナダ	会社員	女性	30代	5	4	5	4	5	5
47	カナダ	会社員	女性	40代	4	4	5	5	5	5
					4.6	4.2	4.6	4.5	4.4	4.5

【個別コメントの抜粋抄訳】

- ◆先住民族アイヌについて多くを学ぶことができ、充実した内容だった。アイヌ民族の文化や芸術は興味深かった。伝統紋様の刺繍や着物に魅了された。室内、屋外での舞踊は、見ていてこちらも楽しくなった。伝統的な食べ物についても紹介され、美味しそうで味わってみたいな、と思った。番組を視聴し興味が湧き、アイヌの子供たちの学校生活や市民との交流についてもっと知りたくなった。彼らはどのように文化や芸術、知恵を子供たちに伝承していくのか、また、アイヌの一員として誇りに思っていることなど、彼らの声を聞いてみたくなった。 【インドネシア・30代女性・公務員】

- ◆この番組は、白糠の先住民族アイヌについて学ぶ良い機会を与えてくれた。アイヌ語を話すことを禁止されていた歴史があることを知り悲しい気持ちになったが、現在は彼らの文化が保存され、促進されていることを知り安心した。言語はあらゆる文化の生命線であり、次の世代に受け継がれるために重要だと思う。言語について興味を持ったので、もっと知りたくなった。伝統文化の保存伝承活動を行う場の役割を果たしているアイヌ文化活動施設の存在が素晴らしい。楽器も興味深く、私の暮らすフィリピンの部族が演奏する竹の楽器とも似ていて面白いな、と感じた。 【フィリピン・40代男性・弁護士】

- ◆アイヌ語について興味があり、この番組が放送されるのを楽しみにしていた。彼らがどこから来たのか、そして彼らが現代社会でどのような日常生活を送っているのか学ぶことができ嬉しかった。一番印象的だったのはやはり言葉で、アイヌ語を初めて聞き新鮮だった。彼らが神に祈る様子は興味深かった。衣と食も新鮮で、アイヌ文化はとても奥深く、自然に近いと感じた。彼らが自然とどのように調和し生活しているか、彼らが自然を敬う姿が素晴らしかった。 【ケニア・30代男性・会社員】

- ◆日本の先住民についての知識がほとんどなかったので、今回のテーマは目を見張るものだった。アイヌ文化の様々な側面を学ぶことは非常に興味深かった。世界中の多くの先住民族は抑圧され、伝統や習慣を守り新しい世代に引き継ぐのは簡単なことではない。日本でもアイヌの人々が母国語を話すことを禁止した歴史があることを知りショックだった。海岸での鯨祭の様子が一番印象的だった。恵みを与えてくれる自然へ感謝し敬意を表する姿に刺激を受けた。アイヌ文化保存会の活動はとても重要で、イベントや式典を企画、オープンにコミュニティを招待する努力が見られた。外国人がアイヌ文化に触れる活動も紹介され、私もぜひ参加してみたいと思った。 【ニュージーランド・30代女性・地域職員】

◆ナビゲーターの高田氏は、親しみやすく、積極的にコミュニティに入って対話していく様子番組に最適な人物だと感じた。白糠町の風景が気に入り、もっと町の様子を見たいと思った。私にとって新しい情報が多く、日本のまだ知らなかった側面を学ぶことができ番組の内容に魅了された。アイヌの人々は文化を大切に守りながらも革新的で、ユーモアのセンスも素晴らしく優しい、という印象を受けた。新鮮で学ぶことが多い充実した番組だった。 【アイルランド・50代男性・主夫】

◆伝統的な祭、踊りを何時間も見ていたい気分させられた。先住民だけがもつ自然との強い絆が画面を通して伝わってきた。アイヌの伝統的紋様、刺繍作品の重要性や意味についても興味深く学んだ。番組の中の彼らに惹かれ、もっと知りたい気持ちになった。皆が協力し、アイヌ文化を維持し促進するための努力も伝わってきた。このような番組をもっと見たい。期待している。 【イタリア・40代女性・主婦】

◆アイヌ民族について初めて知る機会になり、興味が湧いた。自然豊かで美しい北海道の白糠町について学ぶことができたのも嬉しかった。伝統文化を守りながら伝承していく活動を続けていることが素晴らしいことだと思う。世界には文化的多様性を認めない場所もあり、保存することに地域一丸となって努力している白糠町の姿に感銘を受けた。日本人とアイヌ民族の文化の類似点と異なる点が着物を通して学ぶことができ、面白かった。アイヌ刺繍に魅了された。三大祭りは、それぞれの祈りの意味を学び価値ある内容だった。 【イギリス・30代女性・ライター】

◆白糠町の紹介から始まり、アイヌ民族と地域の歴史の説明と流れが分かりやすく、彼らの文化について理解しやすかった。明治政府によってアイヌ語を話すことができない歴史があったことについても包み隠さず言及されていたことが良かった。最も興味深かったのは、アイヌ文化活動施設での活動と文化保存会が中心としたイベントだ。私自身、刺繍が趣味なので、アイヌの伝統的なテキスタイルアートや技術は刺激的だった。また、文化保存会会長、磯部恵津子さんの話は貴重な体験だった。 【ウクライナ・40代女性・大学教授】

◆とても良くまとめられており、面白い番組だった。アイヌ民族の祭りの様子や生活の様子が良く描かれており、彼らへのインタビューは実に興味深かった。字幕が多く、読む時間が短かったのが少し大変だった。世界中の視聴者はもちろん、日本人にとっても貴重な内容の番組だと思う。私の暮らすカザフスタン文化とアイヌ民族の文化には、刺繍や模様など共通点がいくつもあり親近感を覚えた。3大祭りはまるで演劇を見ているかのようだった。 【カザフスタン・20代女性・教師】

- ◆「アイヌの精神を伝えたい。心の中にある優しさを。」という磯部さんの言葉に感動した。鯨祭などの伝承儀式や古式舞踊など魅力的な場面がいくつもあり、素晴らしい番組だった。アイヌの衣服のデザインは独特で、興味深い幾何学模様が布地に刺繍され、日本の着物と比べて外観が異なり夢中になって視聴した。外国人との異文化交流の様子から楽しんでいる雰囲気が伝わってきた。 【スペイン・30代男性・編集者】

- ◆ロシアから近い北海道について学ぶことができ嬉しかった。人口の少ない小さな町にアイヌ民族の人々が暮らしていることは興味深かった。番組を視聴していてアメリカの先住民、インディアンが思い浮かんだ。母語を話すことを禁止された悲しい歴史も語られたが、現在はアイヌ民族の文化を維持するため町ぐるみで守っている様子に感動した。 【ロシア・40代男性・主夫】

- ◆70年代、子供の頃に本で知り、アイヌとその文化に興味を抱いていたので、この番組を心待ちにしていた。世界の先住民族は、文明の犠牲者でもあり、アメリカ、カナダにも存在する。長年アラスカに住んでいたが、イヌイト民族が暮らすアラスカやカナダは北海道に似ているところがあると感じた。アイヌ民族が自然と常に密接な関係を持ち、全ての自然に精神的な面を尊重していることは先住民族に共通していて素晴らしいと思う。アイヌ民族と白糠町の人々が文化と遺産を守り続けていることに感銘を受けた。磯部さんの祖母との思い出を語る場面がとても良かった。 【アメリカ・40代男性・保険関係】

- ◆先住民について学びたいといつも思っており、このような番組を待っていた。世界の国々には多くの民族があり、彼らの文化はユニークで学ぶことが多い。一つひとつに意味があり、踊りもその一つで興味深かった。アイヌ民族が長年培ってきた文化と崇拝が現在も健在であることを嬉しく思った。白糠町のアイヌ文化活動施設「ウレシパチセ」は、保存、伝承、交流、発信の場であり、とても優れている。着物の紋様パターンは今まで見てきた他の民族のものとはまた違い、ユニークでモダンな印象を受けた。恵みを与えてくれる神へ感謝する鯨祭の場面は、歴史の瞬間を見せられているようで面白かった。 【アメリカ・50代男性・作家】

- ◆北海道白糠町に暮らすアイヌ民族のストーリーは、非常に教育的でためになる内容だった。日本の先住民であるアイヌ民族が迫害されていた歴史を含め、彼らについて今まで知らなかったのが新鮮だった。彼らの伝統文化について学ぶことは興味深かった。中でもアイヌ三大祭は貴重な体験をさせてもらった。アイヌ民族の磯部さんの視点で直接語られた情報は印象的でストレートに伝わってきた。自身に力を与え、伝統を未来の世代のためにできる限りの多くの方法で守り、伝承し続けている彼らの姿がしっかり示されていた。刺激を受けた。 【カナダ・30代女性・会社員】

以上